



左から、及川竣介(1年)、金谷優輝(3年)、谷津友章(3年)、長谷優之介(2年)、向井瑠偉(3年・主将)、谷島靖弘(監督)※敬称略

公共施設周辺の草刈りをボランティアで実施

6月12日に安平町シルバーク人材センターの皆さんがボランティアで追分地区の公共施設周辺の草刈りを実施。腰まで伸びた雑草やフキなどを機械で刈り取っていききました。草刈りに従事した方は額から流れる汗をタオルで何度も拭きながら刈払機を操作。作業は手際よく進められ、草が生い茂っていた所はきれいな状態になりました。



また、25日には早来と安平の保育園、ケアハウスサックルでもボランティアで草刈りが行なわれました。



地域や企業・団体の皆さんの協力で

6月18日にビューティーサポートR 234が行われ、JR早来駅前の国道沿いに設けられた花壇に花の植栽を実施。早来市街の自治会の皆さんや企業・団体の方々など約90名のボランティアが参加しました。

北海道電力の職員や安平自衛隊、早来自衛隊の曹友会のメンバーも地域づくりに貢献を同活動に協力してくれました。

今後は雑草を刈ったり、枯れた花を抜くなど花の維持管理を行い、国道を往来する人に10月ごろまで可憐な花を楽しんでいただければと関係者は話していました。

また、今年度から希望する団体は国道沿いの花壇の一部について草取りなど自主的に管理することになっています。

追中剣道部個人と団体で全道大会出場

6月13日に苫小牧市川沿体育館で胆振四地区中学校体育大会剣道大会が開催され、管内から男子団体18チーム、男子個人103名の選手が参加。個人戦と団体戦でベスト8に入った向井瑠偉君(追分中3年)と追分中剣道部が7月25日と26日に日本工学院(登別市)で行われる全道大会に出場することになりました。

女子団体では過去2回全道大会で優勝しているが、男子団体で全道大会に出場するのは今回が初めて。

主将の向井選手は「全道大会では皆さんの期待に応える試合をしたい」と決意を語り、監督の谷島靖弘教諭は「四地区大会で生徒たちは日ごろの成果や持てる力を十分に出し切ったと思います。これから練習を重ね、実力をつけ最高のコンディションで全道大会に臨みたい」と力強くコメントしてくれました。



現場で貴重な体験

6月18日と19日の2日間、追分高校の2年生が町内の企業などで職場体験学習を行いました。企業などの現場で実際の知識や技術に触れ、

学校における学習と職業についての理解を深めることなどを目的に実施。20社以上の企業等に派遣された生徒たちは学校では習うことのない貴重な体験をしました。受け入れた製造業の担当者には「ヘルメットの着用や安全靴の使用など事故防止には気を使っています。熱心に話を聞く生徒たちは、迅速に動いてくれます」と評価。保育園を選んだ女子生徒は「将来保育士を目指しているの参考になります」と園児の世話に専念していました。